

# 初めて始めるパソコンⅡ

## 第七回

### デジタルカメラと 「ワード」



平成 24 年 10 月 18 日

10:00 ~ 12:00

中央公民館 尾張旭市民塾

〒488-0803 尾張旭市東大道町山之内2410-2

TEL: 0561-54-5300

尾張旭市民塾資料

作成 年月日：平成 24 年 10 月 16 日


取扱	件名	第七回「初めて始めるパソコンⅡ」 資料				
	概要	尾張旭市民塾で八回の講座を開催します。 その講座内容を資料化したものです。				
改定履歴	2012-10-16 佐久間					


全体目次					
第四回講座	文書作成「ワード」Ⅱ A、文字の修飾 B、文字の配置、段落 C、図、図形、クリップアート D、ページレイアウト	第五回講座	年賀状作成「ワード」Ⅲとデジカメ A、年賀状作成 B、画像編集 C、デジカメと画像 D、年賀状に画像応用	第六回講座	デジタルカメラと「ワード」 A、デジカメについて B、デジカメをパソコンにつなぐ C、画像の編集 D、デジカメ写真編集

第七回 講座  
デジカメ編集

前回の復習と追加

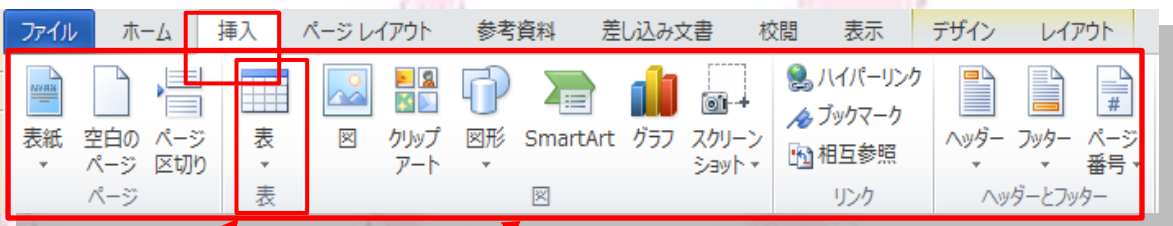
【操作の手順】

  
レッスン  
「表」で一行増やしてみよう

**重要 !!**  
  
タブやグループの選択によりリボンが変わります



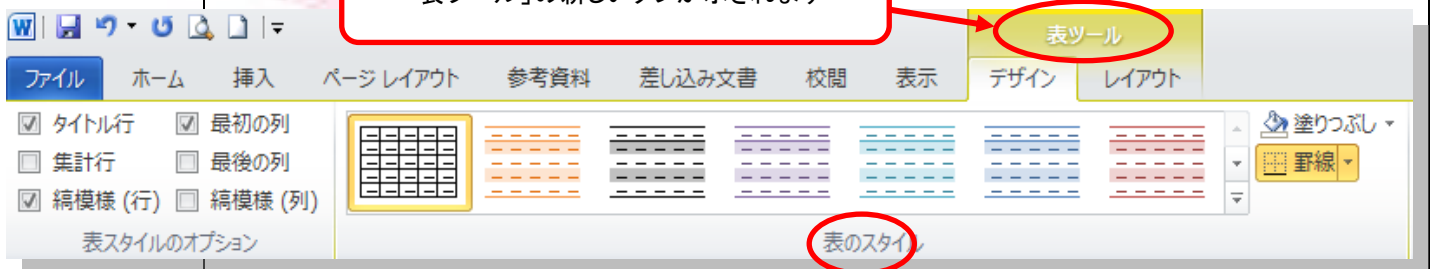
1 「挿入」タブを選択します



3 「表」を選択します

2 「挿入」のグループが表示されます

4 「表ツール」の新しいタブが示されます



**重要 !!**



**対象を選んでください。操作コマンドが出てきません**

前頁のようにタブを選択したり、さらにグループを選択したりすると、連動してリボンの内容が変化します。コマンドは、グループの中に含まれていて、操作を選択している対象を変化させる働きがあります。

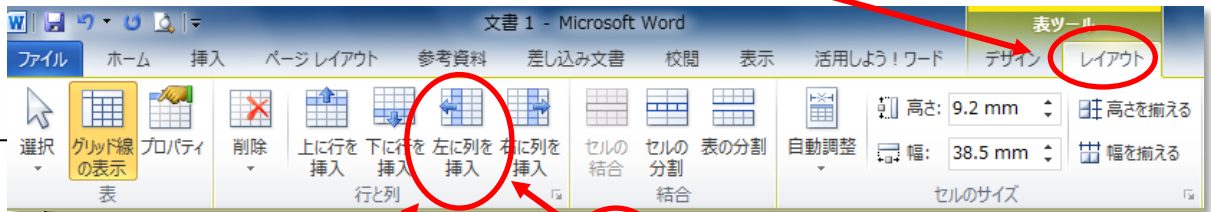
これが「リボン方式」でワードのバージョン2007から変わりました。それまではメニューとコマンドが固定されていました。リボン方式は、慣れると必要なコマンドやツールが自動的に出てきますので操作が「直感的に」分かる優位性があるとソフト作成会社は自讃しています。

しかし、逆に言いますと自分が使いたいコマンドの位置が固定していないので、どこにコマンドがあるのか探すのには向いていません。

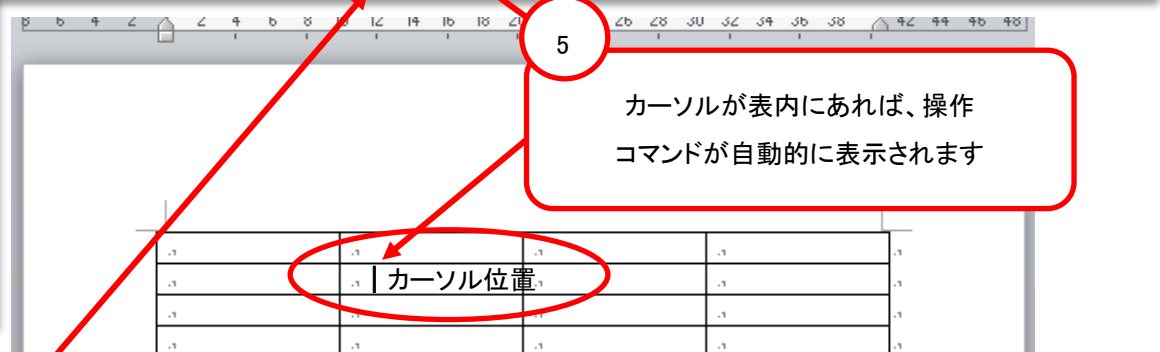
この操作に慣れるには、「対象を選択する」ことです。今、ワードで表を作ったとします。その表の一部に何かの変化をさせたいとします。たとえば表のどこかに列を追加して作りたい場面を想定します。

この場合、コマンドの位置を考えるのではなく、その対象の表にカーソルを置きます。自然と「表ツール」が現れて、「デザイン」と「レイアウト」のタブを選択できるようになります。表の一部の構成を変えるわけですから、「レイアウト」を選択します。

4 「表ツール」の「レイアウト」を選択すると「表」に対する操作コマンドが出ます

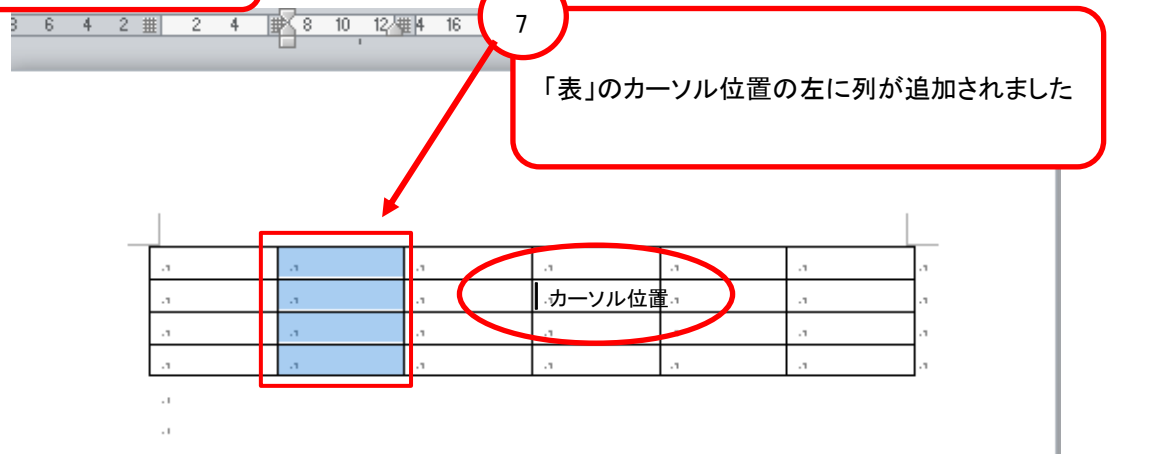


5 カーソルが表内にあれば、操作コマンドが自動的に表示されます



6 コマンド「左に列を挿入」をクリックします。

7 「表」のカーソル位置の左に列が追加されました



**講座では**

操作の共通的な方法を説明しています。

カーソルが「表」以外の所にあるとコマンドが表示されません



講座では

「ウィンドウズ」で  
「共通的な操作」を  
ご紹介しています

### 【マウスの右クリック操作】

次は、マウス操作についてです。「クリック」と「ダブルクリック」「ドラッグ」などをご紹介しましたが、そのほかに人差し指ではなく中指で操作する「右クリック」をご紹介します。

第一回で右図のように「マウス操作」を取り上げています。通常、対象を選択する時には左ボタンが使われますが、右クリックは右ボタンを素早く中指でカチッと押すことです。

右クリックは、「状況に依存する」メニューが表示されます。ちょうど、ワードでリボンが変化するように、右クリックする時のカーソルの位置、マウスポインターの位置により異なるメニューが出てきます。ワード2007よりも以前はメニューが固定でしたので操作ボタンを探す必要がありましたが、右クリックによって探している操作メニューが表示されることもありました。リボン方式では必要度が薄れましたが、機能として残っています。

### 【キーボードの活用方法】

ウィンドウズが発表されて、間もないころはマウスが無く全部の操作をキーボードで入力していました。その関係で、ほとんどすべてのマウス操作はキーボードでも操作できます。今は絵のような画面とかアイコン(絵文字)を見ながらマウスポインターの先に注目してマウス操作していますが、実はキーボード操作の良い面も沢山あります。一部をご紹介します。

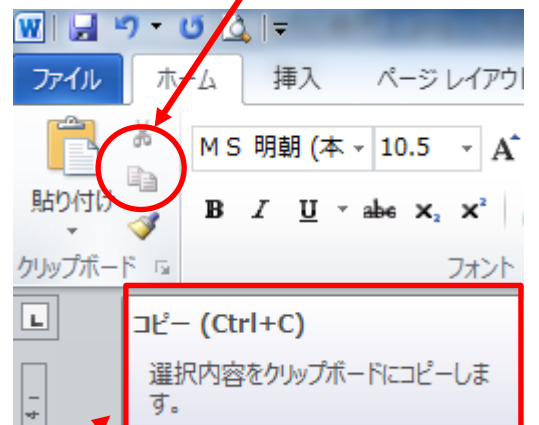
- ・ Ctrl + C キー (コピー)
- ・ Ctrl + X キー (切り取り)
- ・ Ctrl + V キー (貼り付け)
- ・ Ctrl + Z キー (元に戻す)
- ・ Ctrl + 右方向キー (カーソルを次の単語の先頭に移動する)
- ・ Ctrl + 下方向キー (カーソルを次の段落の先頭に移動する)
- ・ Ctrl + P キー (印刷する)
- ・ Ctrl + A キー (すべてを選択)
- ・ Ctrl + O キー (開く)
- ・ Ctrl + N キー (新規作成)
- ・ Ctrl + S キー (上書き保存する)
- ・ F1 キー (選択した項目のヘルプ トピックを開く)
- ・ F5 キー (作業中のウィンドウを更新する)
- ・ F6 キー (文字入力中に「ひらがな」にする)
- ・ F7 キー (文字入力中に「カタカナ」にする)
- ・ F8 キー (文字入力中に「かたじ」にする)
- ・ Alt + F4 キー (作業中のプログラムを終了する)
- ・ Alt + Tab キー (開いている項目を切り替える)
- ・ Esc キー (現在のタスクをキャンセルする)

マウスの使い方で右クリック  
があります



「Ctrl + 文字」とは、キーボードの左右にあるどちらかの Ctrl キーと指定された文字を同時に押し下げること示します

マウスポインターをワードの  
左上、「コピー」のアイコンに  
ポイントします



2 マウスポインターを動かさず待ちますと、  
コピー (Ctrl + C) と表示されます



休憩  
キーボードの操作  
はソフトが進化し  
ても同じ方法で操  
作できます

A、デジカメについて（デジカメは大きく分けてレンズが着脱できるかどうかで2つの種類に分かれます）

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright; font-size: 2em; font-weight: bold;">レンズ着脱不可</p>	<p>コンパクトデジカメ (ハンディタイプ、安価)</p> 	<p>ネオ一眼 (広角から望遠まで一台で済ませられる、安価)</p>
	<p>一般的にデジカメと聞いたときに多くの人が思い浮かべるタイプのデジカメです。小さいので持ち運びがしやすく、写真を撮りたいと思ったらすぐに撮れるという利便性があります。動画を撮れる機種はかなり多いです。価格は安いものでは1万円前半くらいからあります。</p>	<p>見た目が一眼レフのようになっていますが、レンズ交換はできません。コンパクトデジカメより良いレンズを使っています。動画を撮れる機種は多い。ズームの倍率が大きい機種が多く、15倍や20倍、30倍のズームという機種も存在します。価格は2万から5万円くらいしますが、カメラ一台で広角(広い範囲を撮る)も望遠(遠くの物を撮る)も撮りたい場合におすすめてです。高倍率のズームは運動会などのイベントに向いています。ただし、暗い室内にはあまり向いていません。見た目もサイズも一眼レフに近いので、いつでも簡単に持ち運べるという感じではありません。</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright; font-size: 2em; font-weight: bold;">レンズ着脱可能</p>	<p>一眼レフ (キレイな写真を撮れる、高級機)</p> 	<p>ミラーレス一眼 (ハンディタイプ、高級機)</p>
	<p>レンズを交換できるので、ケースに合わせた撮影が可能になります。広角に強いレンズ、望遠に強いレンズ、ズームはできないが明るい単焦点レンズなどいろいろとあり、レンズの価格もピンからキリまでで、安い物では1万円くらいからありますが、高いものだと100万、200万の世界です。一眼レフはレンズから入った光をミラーで反射させてファインダー(のぞき窓)へ被写体を表示させます。ミラーで反射させているだけなので見ている被写体にタイムラグはなく、動きの速いものを取るのに向いています。また、動画を撮れる機種も増えてきています。</p>	<p>一眼レフのようにレンズの交換をすることができますが、「レフ」が名前に入らないのは、ミラーを使っていないためです。カメラの内部にミラーが無いので、従来の一眼レフよりも小型化し、女性でも扱いやすいサイズになっています。特に、パンケーキレンズと呼ばれる薄いレンズを装着すると、レンズもあまり邪魔にならず持ち運びがしやすくなります。動画を撮れる機種もあります。</p>
		

## B、デジカメをパソコンにつなぐ

最近、デジタルカメラは高性能で低価格のお値打ち品がたくさん出回るようになりました。

写真を画像として、編集したり書類に差し込んだりすることができます。

簡単に方法を学習しましょう。

まず、デジカメで撮影した写真をパソコンに取り込む必要があります。

取り込む方法はいろいろあります。

### 1、「USBケーブル」で接続する方法。

このケーブルはデジカメを購入する時に付属しています。



デジカメ接続用のUSBケーブル。  
両端が見えていますが、小さい方をデジカメに接続します。  
デジカメが小さいので、普通のUSBケーブルのコネクタよりもコンパクトで、専用です



パソコン側のUSBケーブル差込口



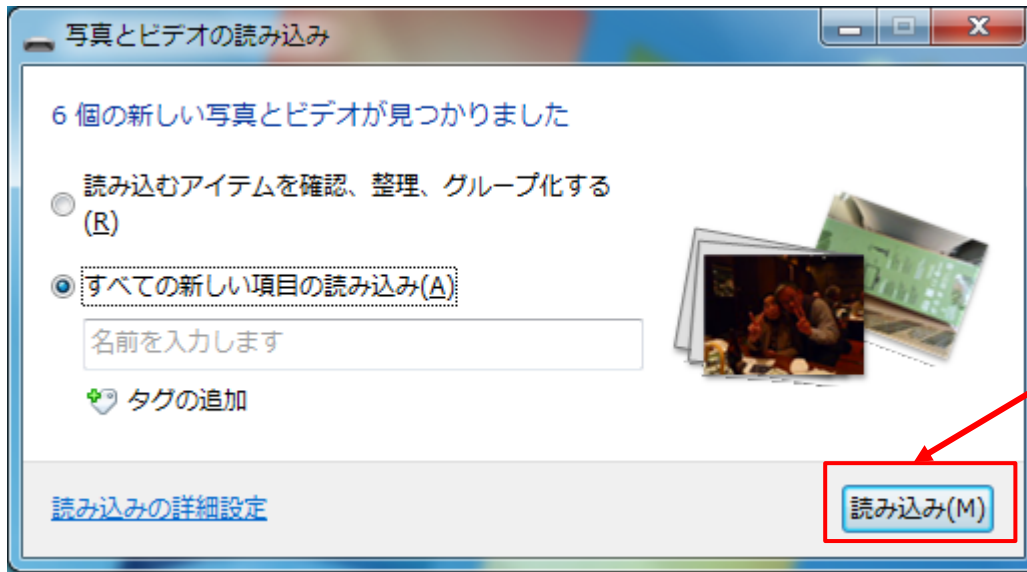
デジカメとの接続

### 2、カメラに入っているメモリを利用

極小サイズのメモリがカメラに装着されていますので、それを直に取り出して、パソコンに接続します。今、購入する家庭用パソコンは、最初からこのメモリを受け入れる差し込み口が装備されています。無い場合は、USBケーブル付のアダプタが流通していますので、それを介して接続します。カメラ用メモリも種類がたくさん出てきました。代表的なものは以下のものです。

名称	説明	写真	アダプタ
SD (エスデー) メモリカード	ほぼ切手サイズで、多くのコンパクトデジタルカメラで採用されています。著作権保護機能を備えているので音楽用にも利用可能です。記憶容量は最大 2GB まであり、転送スピードが速い高速タイプもあります。		
MiniSD (ミニエスデー) メモリカード	数多くのカメラ付き携帯電話で採用され、利用が広がっています。カードアダプターで SD カードとしても使用可能で、記憶容量は 32MB~2GB まであります。		 差し込むと一段上のサイズ用として使える
MicroSD (マイクロエスデー) メモリカード	カメラ付き携帯電話で採用されつつあり、利用が広がっています。 <u>カードアダプター</u> で miniSD カード、SD カードとしても使用可能で、記憶容量は 128MB~2GB まであります。		

パソコンとデジカメを接続しますと最初の一回だけ、違う画面が出ます。そのデジカメがどういう製品かパソコンの方で認識する必要がありますからです。この「認識する」とは、パソコンとデジカメが通信する時、お互いにデータをやり取りする方式、方法を確認する事です。認識作業はソフトで行いますが、このソフトを「ドライバー」と言い、デジカメ製造メーカーが作成してパソコンに理解させる仕組みになっています。この「認識」画面は機種により違いますので、説明を省略します。以下の図は、「認識」終了後、接続するたびに表示されます。



パソコンが立ち上がっている時、ケーブルを接続してデジカメの電源を入れます。デジカメ側で、「パソコンと通信」等の選択をしますと、この画面になります。「読み込み」ボタンを選択しますと、デジカメとパソコンが通信を始めます

### 「フォトギャラリー」

この画面は、デジカメ接続後に自動的に表示されます。手動で、立ち上げる方法は「スタート」「すべてのプログラム」「Windows Live」「Windows Liveフォトギャラリー」と選択します。

「ワード」や「ペイント」と同じようにリボン

タブ、グループ、コマンドと 操作する アイコン(絵文字)が並んでいます。



C、画像の編集

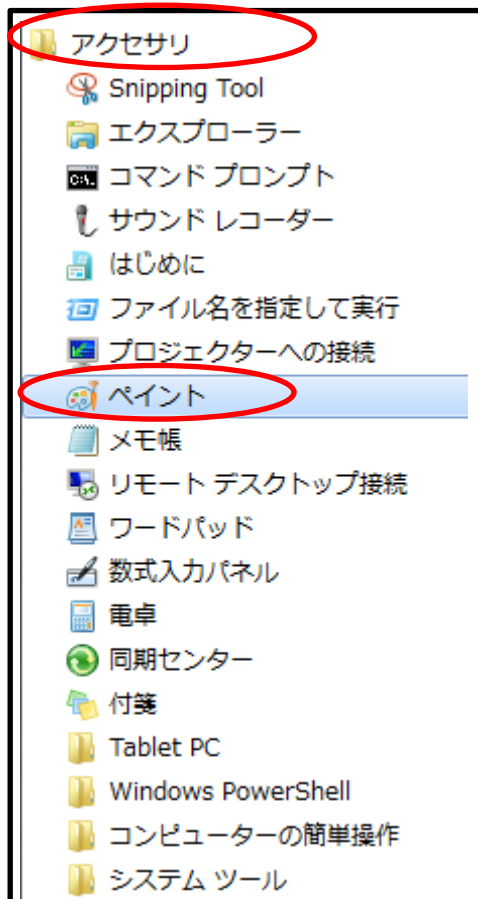


お絵かきソフト  
を起動させてみ  
ましょう

年賀状作成では、「ワード」の中で前もって用意されていた  
画像を使用しました。先回は尾張旭市のロゴを作成してみまし  
た。今回は、オリジナル画像とか、写真を使うことを考えましょ  
う。画像編集は、専用ソフトを使いますが、今回の講座では、ど  
のパソコンにも入っている「お絵かきソフト」の「ペイント」を使  
います。「ゲーム」をする時と同じ操作で「ペイント」を起動させま  
す。

パソコン画面左下から「スタート」「すべてのプログラム」「ア  
クセサリ」「ペイント」で起動します。

起動した画面の説明が下図です。

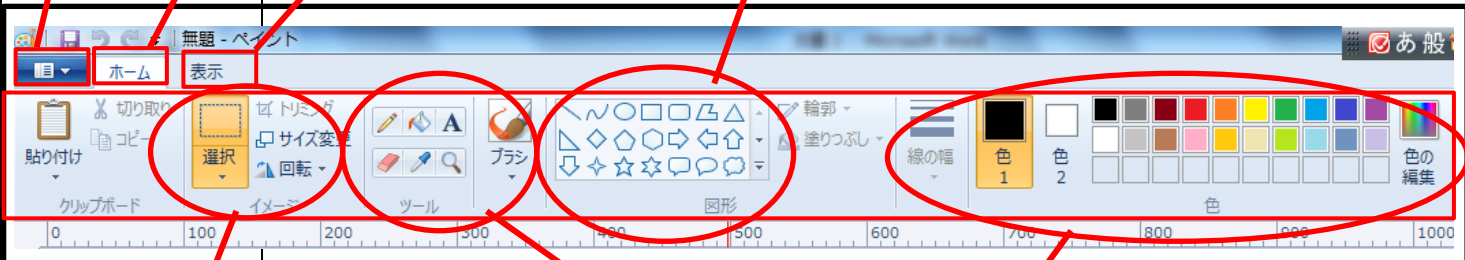


もっとも使用することの多い  
タブ「ホーム」です

挿入できる「図形」が並んでいます

画面の大きさなどを変化さ  
せるタブ「表示」

ファイル処理タブ



「絵」を選択して、サイズ変更や回転させる機能  
があります

絵具としての色を選択できます

お絵かきするツール(道具)があります。描く筆や  
ペンの種類を選択できます

「ワード」なら文章を作成しますが、「お絵かき」ツールですから、画面の下部は白いキャンバスになりま  
す。本物の絵を描くのと同じように、ペンや筆が何種類か用意されていて、色数も豊富にあります。フリー  
ハンドでも良いですし、図形を指定すれば定形の図を指定できます。色塗りは、スプレーで吹き付けたり  
ペンキを流したりして描けます。上手く描けなかったときは、電子ファイルですから「元に戻す」を使いま  
す。「ワード」と同じです。消しゴムもあり、なぞった所が消えます。  
写真を貼り付けて置いて、文字を追記して説明文とすることも出来ます

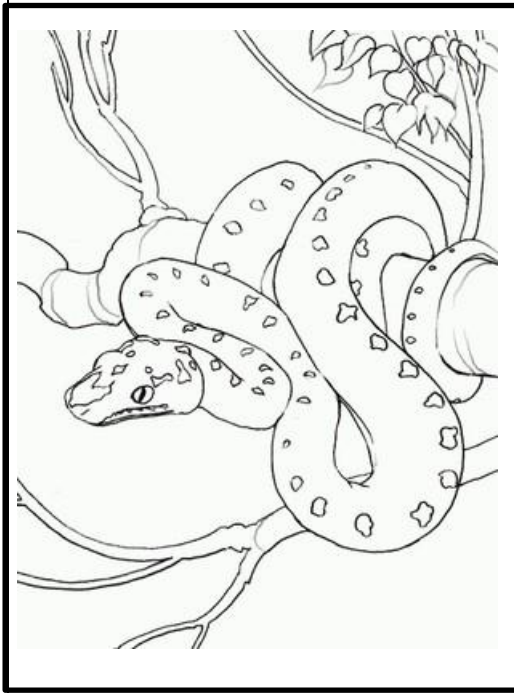
「ペイント」を使って年賀状の素材を作成してみました。次頁を参照願います。  
インターネットにある「蛇」の画像を下敷きにして、その中に「謹賀新年」と「年号」を入れ、画像に  
着色してみたものです。文字の書き方と着色方法は次頁を見て下さい。  
「お絵かき」ソフトと言いますから、塗り絵のようにして作ります。





レッスン

年賀状用の画像  
を作成して  
みましょう



レッスン

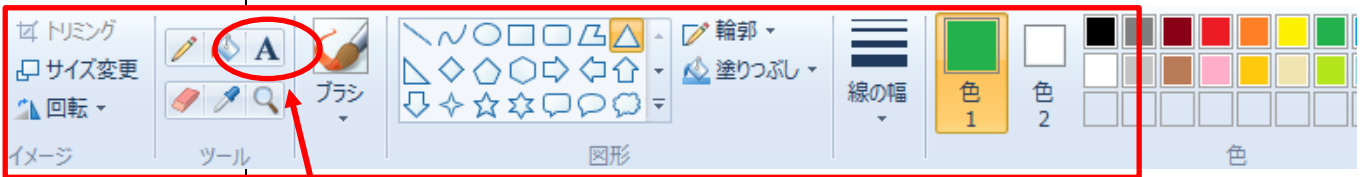
起動させた「ペ  
イント」で描いて  
みましょう

休憩



年賀状の絵作成に  
応用できます

完成



1

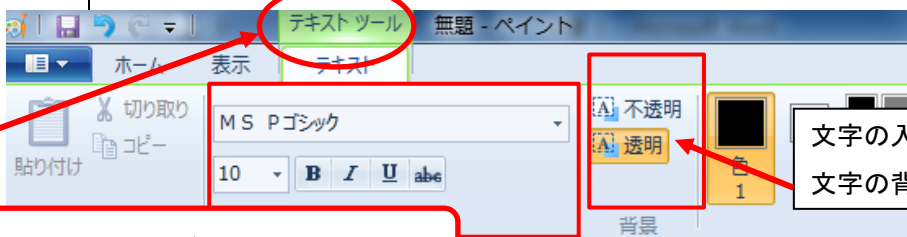
「ツール」タブの「A」アイコンを選択します

2

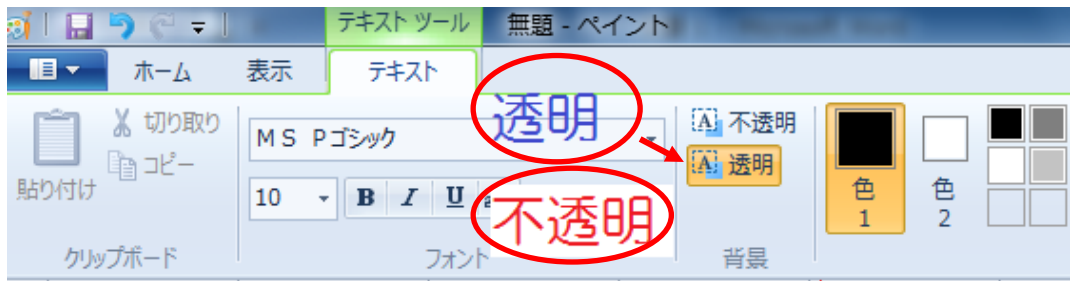
キャンバスでマウス操作し、領域を設定します

3

「テキストツール」タブが表示されます



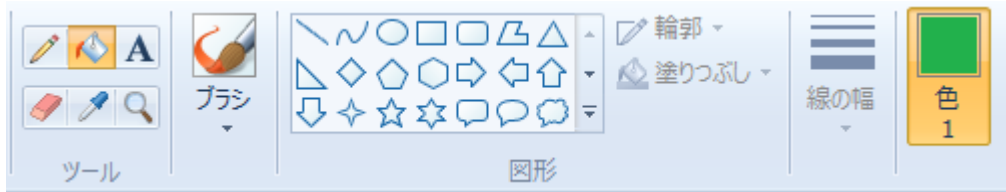
文字の入れ方で透明にしている方法と  
文字の背景に着色する方法があります



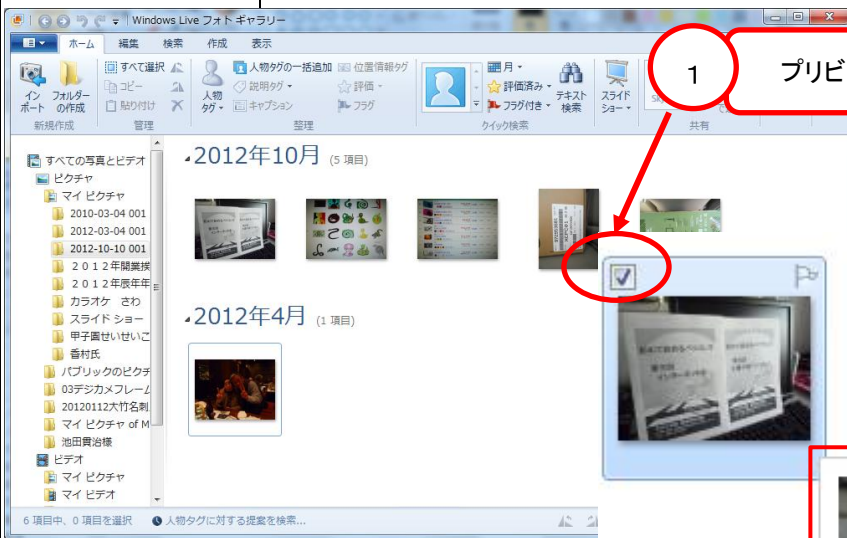
画像に、文字を入れたり、画像を重ねたりしてお好みの作品にします。  
 ペイントでもウィンドウズ7では、透明の文字が作成できますので、画像と干渉しても気にならなくなりました。不透明の文字は強調出来る利点がありますが、背景が隠れてしまいます。文字を設定しだしたときに「不透明」か「透明」のどちらかを選択するだけで、簡単に作成できます。

D、デジカメ写真編集

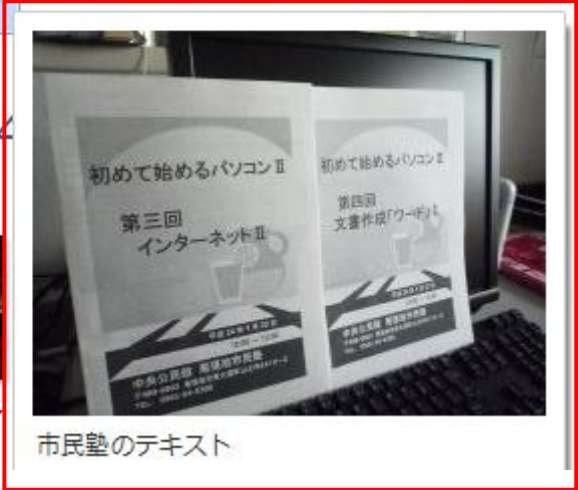
デジカメ写真もいったんパソコンに取り込めば、「ファイル」、「画像」として扱えます。編集用のソフトもデジカメを購入した時にサービスで付属してくることがありますが、講座で試せるように、今回もペイントと画像編集の「図ツール」が利用できる「ワード」で進めます。



今回のテキストで6頁にあります「フォトギャラリー」から写真の画像を取り込みます。取り込み先は「ペイント」かまたは「ワード」です。取込後は、今までの応用です



1 プレビューされているアイコンを選択します

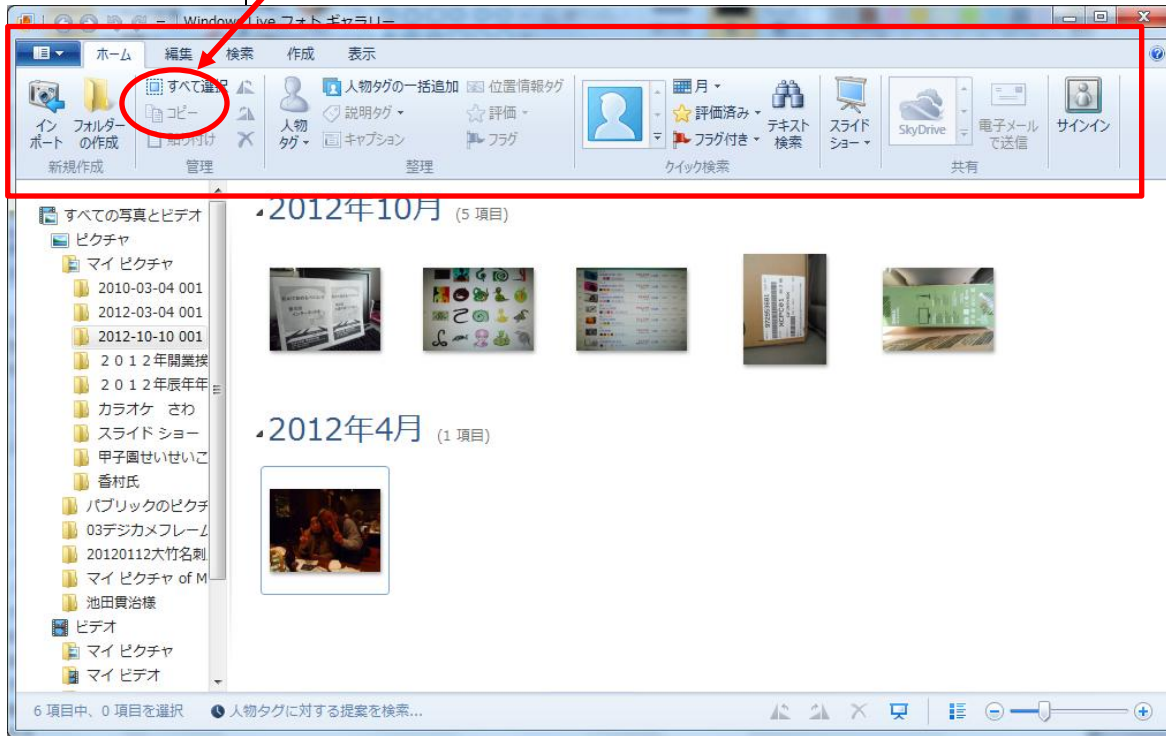


2

プレビューされた写真が拡大されて表示されます

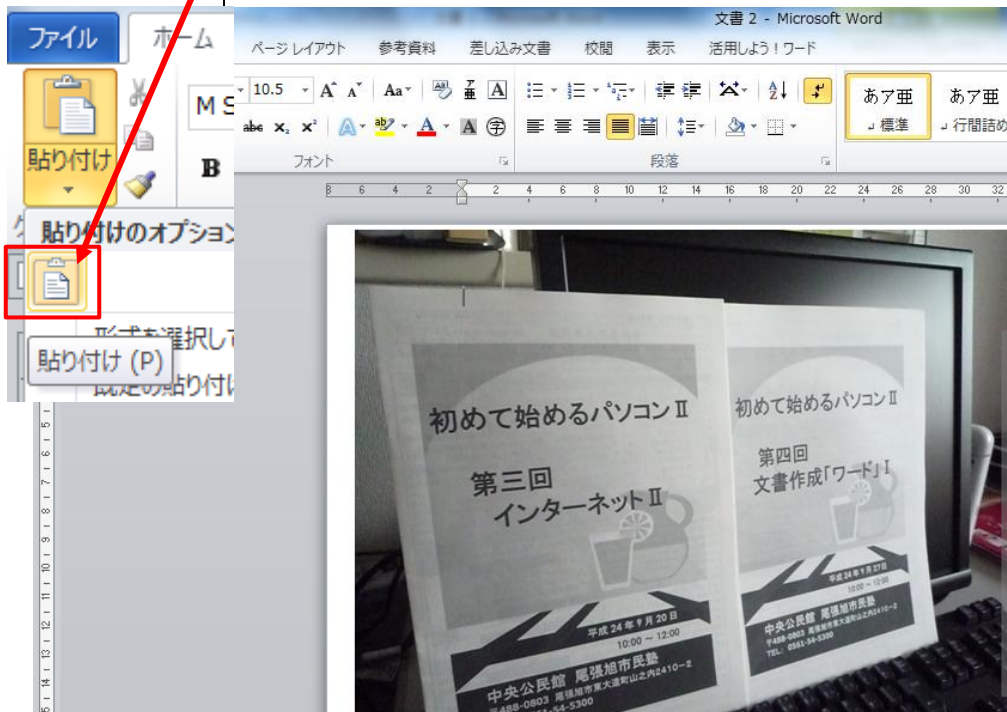
3

「ホーム」タブの「コピー」アイコンを選択します




4

「コピー」されて内容が記憶されていますので、そのまま、ワードの画面に「貼り付け」ます



**休憩**



取り込みました。あとは、皆様の美的感覚を生かして、お好みに編集できます

第七回講座は、デジカメの写真を取り込むことと画像の編集方法に取り組みました。お疲れ様でした。本講座は来週が最終回となりました。次回 最終回講座では、これまでのおさらいとして色々なワード文書を作成してみようかと考えています。是非とも、参加のほどお願いします。

